

令和6年度教育実習

令和6年6月14日

6月3日～14日までの2週間、6名の卒業生が教育実習を行いました。

私も経験しましたが、この2週間は密度の濃い毎日で、一日が終わるのがあっという間です。その経験の中で、人を教え育てることの難しさや教員のやりがいを感じ、自分の適性を見極めていきます。どの仕事にも難しさがあり、詰まるところその仕事のやりがいを自らが見つけられかどうかだと思います。そう考えると教員ほどやりがいを感じる職業はないのではないのでしょうか。

明日15日は、兵庫県教員採用試験の集団面接が本校であります。会場準備のために金曜の放課後から、関係者以外は校舎内立ち入り禁止となりましたので、教室での最後の終礼ができたか心配です。

実習生の皆さんが、将来、母校の教壇に立ってくれることを楽しみにしています。

実習生の皆さんに後輩へのメッセージをお願いしました。



「熱」 石垣 文汰 先生 (72 回生)

どんな分野でも熱量をもって取り組んだことが、大きな財産になると思います。自分の決めたことに思いきり熱中してください。

「歩」 野田 陽太 先生 (73 回生)

高校生はやるべきことも多く、大変かもしれません。しかし、一步一步進んでいくことは必ず自分の糧になります。頑張ってください！

「休」 田中 知哉 先生 (72 回生)

「頑張れ」と言われ続け、疲れて来る頃ではないでしょうか。無理のし過ぎは身体に毒です。時には休息を取って、リフレッシュもしましょう。すると“休さいわい”もあることでしょう。

「優」 江畑 ひなた 先生 (73 回生)

優しさは必ず返ってきます。自分に余裕がなくなると難しいですが、人に優しくできる人に成長して行ってほしいと思います。

「健」 伊藤 涼仁 先生 (73 回生)

体調が良くないときは普段ならできることもできなくなってしまいます。挑戦することはなおさらです。日々、多種多様なチャンスが巡ってくるので、それを逃さないように常に体調は整え、必要なときは休みましょう。

「向」 山本 有紗 先生 (74 回生)

向上心さえあればどんなことでも必ず良い結果に繋がります！自分のことを諦めない、という気持ちをぜひ持ってみてください。